

# 株主通信

Vol. **18** | 2012年3月期 第2四半期のご報告  
2011年4月1日～2011年9月30日

**New Innovative Wave**

「これからの医療」のために。



株式会社 ウィン・インターナショナル

**JASDAQ** 証券コード: 2744

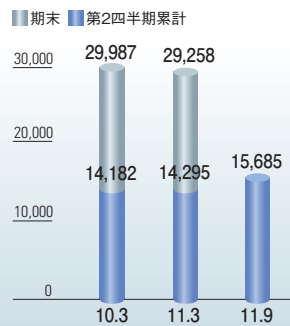
# 私たちは、新しい医療周辺ビジネスの構築を目指す会社です。

私たちウイン・インターナショナルの存在意義は、医療分野において優れた商品及びサービスを、従来にない方法で安定的に提供することにより、医療分野の発展に継続的に寄与し、国民の健康及び医療に貢献していくことです。

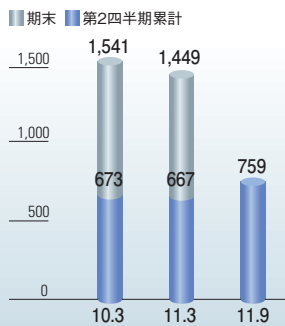
メーカー、当社、医療機関の三者間で、Win-Winの関係を構築



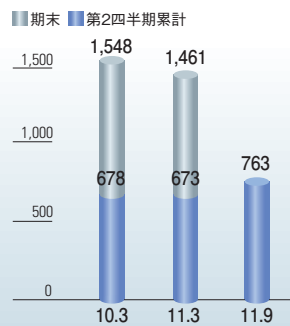
## 売上高 (百万円)



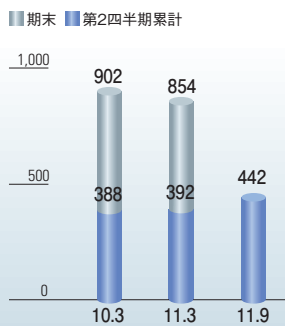
## 営業利益 (百万円)



## 経常利益 (百万円)



## 四半期(当期)純利益 (百万円)



## ● 財務ハイライト

	2010/9 前第2四半期	2011/3 前期	2011/9 当第2四半期
売上高	14,295	29,258	15,685
営業利益	667	1,449	759
経常利益	673	1,461	763
四半期(当期)純利益	392	854	442
総資産	14,313	14,728	15,001
純資産	6,216	6,674	6,739
自己資本比率(%)	43.4	45.3	44.9
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	31.93	69.41	36.24
1株当たり配当金(円)	—	25.0	—

## 第29期上期は、売上高・営業利益・ 経常利益で過去最高を記録。 下期も付加価値の高い事業を展開。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第29期(2012年3月期)第2四半期株主通信をお届けいたします。第29期は、前期末に発生した東日本大震災により、日本経済の先行きが不透明な中でスタートいたしました。しかし、そうした中で、当上期はおかげさまで、上期としての売上高・営業利益・経常利益で、過去最高の結果となりました。下期に向けても、より付加価値の高い事業活動を展開し、低侵襲医療分野に安全・安心・信頼をもって貢献する企業として存在感を強めるべく努めてまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社ウイン・インターナショナル  
代表取締役社長 秋沢 英海

### ● 第29期上期の市場環境と業績について ● お聞かせください。

当上期は、上期として過去最高を記録した前期上期を上回る、売上高156億85百万円(前年同期比9.7%増加)、営業利益7億59百万円(前年同期比13.7%増加)、経常利益7億63百万円(前年同期比13.3%増加)の、増収増益となりました。

当初懸念された東日本大震災の影響については、計画停電等により当社顧客医療機関や仕入先メーカーに一時的な影響がございましたが、当社の上期業績への影響はほとんどありませんでした。

### ● 上期の業績好調の要因はどのような ● ことでしょうか。

まず、顧客医療機関の数が増加しております。グループ病院の獲得もさることながら、これまで当社とお取引のなかった医療機関や再度お取引を開始した医療機関が増えたことが、DES(薬剤溶出ステント)やペースメーカーなどの主力製品を中心に取扱商品の販売増につながっております。

価格交渉では、従来どおり、成功報酬プログラムや商品の一括購入、対象商品の拡大など柔軟に対応し、当社と顧客医療機関及びメーカーと強い信頼感関係の下、三者にメリットのある

提案を行い、その効果が生まれています。

また、第27期に立ち上げた糖尿病関連事業では、患者様のQOL(生活の質)向上に効果的なインスリンポンプの普及を推進しております。事業開始から現在までに、220程の医療機関と取引を行っており、その内の半数以上がこれまで取引を行っていなかった医療機関でした。当事業によって、これまで開拓できていなかった医療機関を顧客とすることができ、今後は従来分野への取引拡大も期待しております。

● 営業体制の拡充や拠点整備は、当期はどのように進めていますか。

営業体制の拡充のための拠点整備については、上期に東京営業所の2分化(東京営業所と首都圏営業所)、東松山出張所の開設を行いました。下期に新たな営業所等の開設予定はありませんが、エリアの拡大だけでなく、営業活動の効率や密度に応じて柔軟に対応してまいります。



● 全営業車に「セーフメーター」を導入されたこと聞きました。これについてお聞かせください。

今年の1月に、運転の安全度を計測する「セーフメーター」を、当社の全営業車両に取り付けました。これは、業務で日常的に運転する営業担当社員たちに、安全運転への意識を高めてもらうことを目的として導入しました。導入後は安全運転に対する意識が従来より一層高まっているようです。また想定以上の効果として燃費が大幅に改善されました。このことも導入のメリットといえます。

● 第29期下期に向けて具体的にどのような事業活動を推進されますか。

循環器領域については、既存顧客との取引拡大と新規顧客の開拓を進めます。また、外科治療分野や不整脈治療分野の人員を強化し、シェア拡大を図ります。

加えて、診療圏調査に基づく患者数増加施策や設備投資計画、コンサルティングなど、総合的な営業提案を顧客医療機関の経営陣に対して積極的に行い、顧客医療機関との信頼と協力体制の中で、売上高の増加を図ります。

当事業の場合、例年下期に業績伸長の傾向がありますので、当下期も業績を伸ばしていくと予想しております。

● 中・長期的な展望、経営戦略などがありましたらお聞かせください。

当社の中・長期的な経営戦略を検討するために、新たにプロジェクトチームを発足させました。これは、30代社員を中心に構成されたチームで、5年後の医療機器販売業界はどのような方向に進んでいるのか、そのときの当社の組織体制や事業活動がどうあるべきかを、社内チームで検討・予測・プランニングするものです。

実は同じテーマで外部機関にも検討を依頼しており、1年後に、両者の検討結果を突き合わせることになっています。

こうした活動は1年だけで簡単に実を結ぶものではなく、今後も継続しながら、企業と事業活動のあるべき姿を自ら追求し、常に新たな価値を創造し続ける体制を確立していきます。

- **人材採用方針と教育・育成について**
- **お聞かせください。**

来期については、すでに新卒者6名の採用が内定しており、当社は今後も新卒採用を継続する方針です。

新卒採用を控える企業もありますが、当社の強みは“人”であると考えております。

新卒者の継続採用により、将来的に当社の組織体制や戦力に各世代の厚みと広がりを持続できますし、教育・育成面でも新入社員と先輩社員との年齢差やキャリア差が少なく、教育トレーニングをより実践的かつ効果的に進められると考えます。

また人材育成については、社会人としてのマナーや報告・連絡・相談など、ビジネスに必要な基本素養の習得を徹底します。基本中の基本ですが、医療に携わる仕事においては最も重要なものであります。基本素養の教育は、指導する上司の側も自ら意識して実践することで、早期育成効果を求めていきます。専門知識やスキルについては、研修システムを見直し、社員一人ひとりが自分の将来像やキャリアステージを描きながら自発的に選択できる体制を整えます。これにより、顧客医療機関とも仕入先メーカーとも信頼感を持って仕事ができる人材に成長することを願っています。

- **IR活動についてお聞かせください。**

当社では従来からIR活動を重視しており、ステークホルダー

の皆様とのコミュニケーションをはじめ、当社の存在や事業活動の内容を広く社会に認知・理解していただくための様々な活動を行ってまいりました。

今後は、さらに一歩進めて、低侵襲医療の普及・発展に寄与し、医療機器販売業界全体への理解をも深めていただけるIR活動をめざし、現在その活動内容を策定しております。



- **来期、節目の第30期を迎えられます。**
- **これに寄せての思いなどお聞かせください。**

私が社長に就任してから20年となりますが、その間、各方面の様々な方からのお力添えをいただいたことに、改めて感謝しております。

第30期には、当社の企業理念やミッションなどを見直し、次の30年に当社が何をすべきか、どう社会に貢献していくかを分かりやすく集約し、株主の皆様はもちろん顧客医療機関及び仕入先メーカー等にもお伝えする所存です。

- **最後に、株主の皆様へのメッセージを**
- **お願いいたします。**

世界経済の不安、日本経済の停滞の中で、当社を取り巻く事業環境もより厳しく複雑となっております。しかし、そうした中でも当社事業へのご支援にお応えすべく、配当金につきましては基本方針である配当性向35%以上を維持してまいります。

第29期下期に向けても、来期の償還価格改定を睨んだ施策を整えながら、着実に業績を伸長させ、株主の皆様への利益還元に努めてまいります。今後もなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



四半期貸借対照表(要旨)

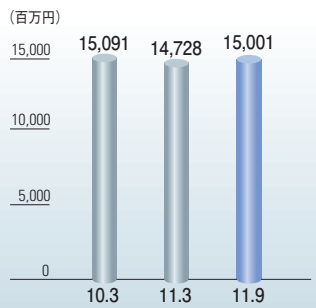
(単位: 千円)

期別	当第2四半期末	前期末	増減
	2011年9月30日現在	2011年3月31日現在	(△印は減)
<b>資産の部</b>			
流動資産	13,284,442	13,026,934	257,507
現金及び預金	4,076,745	4,026,709	
受取手形及び売掛金	8,158,566	7,947,010	
商品	742,073	778,127	
その他	307,056	275,087	
固定資産	1,716,634	1,701,727	14,907
有形固定資産	1,180,217	1,168,387	
無形固定資産	103,233	95,677	
投資その他の資産	433,183	437,662	
資産合計	15,001,076	14,728,661	272,414

(単位: 千円)

期別	当第2四半期末	前期末	増減
	2011年9月30日現在	2011年3月31日現在	(△印は減)
<b>負債の部</b>			
流動負債	8,083,559	7,848,875	234,683
支払手形及び買掛金	7,429,686	7,235,678	
1年内返済予定の長期借入金	74,000	72,600	
未払法人税等	326,959	286,671	
賞与引当金	119,468	107,125	
その他	133,443	146,801	
固定負債	177,827	205,701	△27,873
長期借入金	—	41,000	
退職給付引当金	176,827	163,701	
その他	1,000	1,000	
負債合計	8,261,386	8,054,576	206,809
<b>純資産の部</b>			
株主資本	6,718,374	6,644,168	74,206
資本金	330,625	330,625	
資本剰余金	196,875	196,875	
利益剰余金	6,252,076	6,116,870	
自己株式	△61,202	△202	
評価・換算差額等	21,315	29,916	△8,601
純資産合計	6,739,690	6,674,085	65,604
負債純資産合計	15,001,076	14,728,661	272,414

## 総資産



## Point

総資産は、前期末と比較して272百万円増加して、15,001百万円となりました。これは、新規取引先の獲得や既存取引先との取引の増加により受取手形及び売掛金が211百万円増加したことや現金及び預金が50百万円増加したこと等によるものであります。

## 純資産／自己資本比率

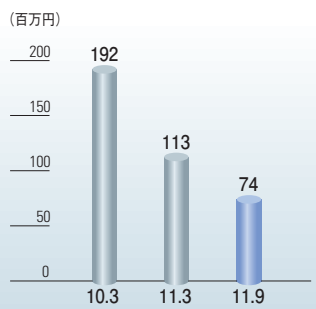


## Point

純資産は、前期末と比較して65百万円増加して、6,739百万円となりました。これは、前期の配当金の支払により307百万円減少したことや自己株式の取得\*により61百万円減少した一方、四半期純利益により442百万円増加したこと等によるものであります。

\*2011年5月12日、大阪証券取引所のJ-NET市場での買付けによって、当社普通株式100,000株を61百万円(1株につき610円)で取得しております。

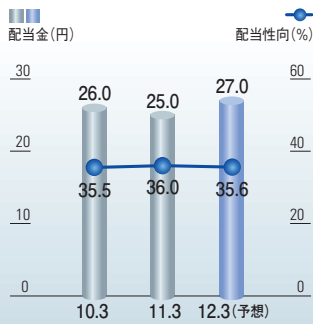
## 有利子負債



## Point

前期に引き続き、有利子負債削減を進めた結果、当第2四半期末借入金は前期末より39百万円減少しております。有利子負債は本社購入時の銀行からの借入金であり、来期第2四半期には完済の予定であります。また、有利子負債は現金及び預金を下回っており、当社は「実質無借金経営」であります。

## 配当金／配当性向



## Point

将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対して適正な利益還元を行うため、配当性向を35%以上とすることとし、期末に一括配当として、剰余金の配当を行うことを基本方針としております。本方針のもと、当期(2012年3月期)の期末配当(年間)につきましては1株当たり27.0円(配当性向35.6%)を予定しております。

## 低侵襲医療の用語解説

# DES

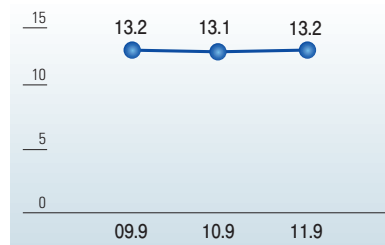
DESとは、薬剤溶出ステント(Drug Eluting Stentの頭文字をとったもの)のこと。現在、狭心症や心筋梗塞の治療には、一般的に、冠動脈の狭窄部位をバルーンで拡張し、そこに再狭窄を防ぐステントを留置するカテーテル治療が行われています。DESはこのステントに再狭窄を防止する薬剤を塗布したもので、留置後、薬剤がゆっくりと溶け出します。DESの登場により、カテーテル治療後の再狭窄率は大きく低下し、治療効果をあげています。

## 四半期損益計算書(要旨)

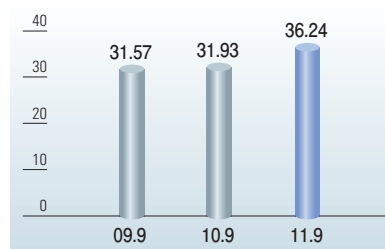
(単位: 千円)

期別	当第2四半期累計 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期累計 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	増加
売上高	15,685,465	14,295,332	1,390,133
売上原価	13,618,386	12,415,510	
売上総利益	2,067,079	1,879,821	
販売費及び一般管理費	1,308,017	1,212,300	
営業利益	759,062	667,520	91,541
営業外収益	5,705	7,870	
営業外費用	1,122	1,628	
経常利益	763,645	673,762	89,882
特別利益	36	5,607	
特別損失	659	739	
税引前四半期純利益	763,023	678,630	84,392
法人税等	320,240	285,771	
四半期純利益	442,782	392,859	49,922

### 売上総利益率 (%)



### 1株当たり四半期純利益 (円)



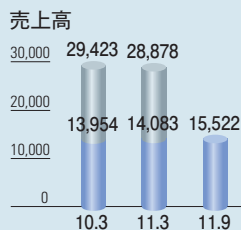
### Point

当第2四半期累計期間においては、新規取引先の獲得や既存取引先との取引の拡大で全体の販売数量が増加したこと、ペースメーカー等の心臓律動管理関連やステントグラフト等の心臓血管外科関連の高額製品の販売が伸びたことにより、売上高は15,685百万円(前年同期比9.7%増加)となりました。また、新製品が上市されたDES(薬剤溶出ステント)等の成功報酬プログラムやペースメーカー等の利益率の改善等により、経常利益は763百万円(前年同期比13.3%増加)、四半期純利益は442百万円(前年同期比12.7%増加)となりました。なお、当第2四半期累計期間の業績といたしましては、売上高、経常利益は過去最高の結果となっております。

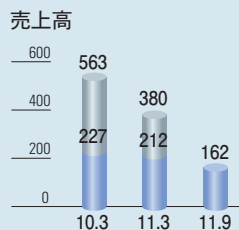
## セグメント別売上高

(単位: 百万円) ■ 期末 ■ 第2四半期累計

消耗品関連



その他





## 四半期キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

期別	当第2四半期累計	前第2四半期累計	増減
	2011年4月1日から 2011年9月30日まで	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	(△印は減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,481	30,211	535,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,045	5,731	△112,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408,400	△359,541	△48,858
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,036	△323,598	373,634
現金及び現金同等物の期首残高	4,026,709	3,933,410	93,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,076,745	3,609,811	466,934

### Point

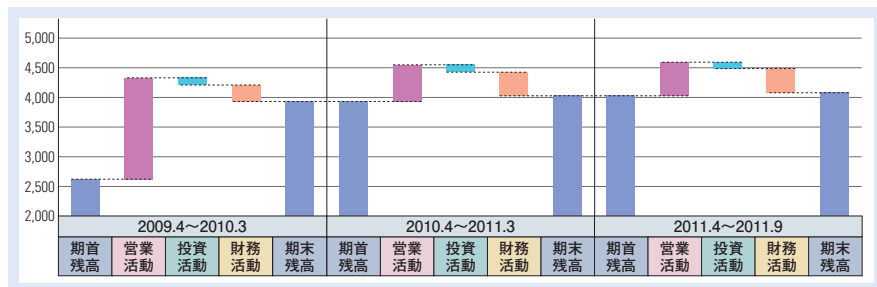
当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前期末と比較して50百万円増加して、4,076百万円となりました。主な要因は、以下のとおりであります。営業活動によるキャッシュ・フローは、純粋な営業活動において得られた収入が850百万円(前年同期は404百万円の収入)ある一方、法人税等を286百万円支払ったこと(前年同期は377百万円の支払)等により、565百万円の収入(前年同期は30百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得により66百万円の支出(前年同期は18百万円の支出)があったこと等により、107百万円の支出(前年同期は5百万円の収入)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金を307百万円支払ったこと(前年同期は319百万円の支払)や自己株式の取得により61百万円の支出があったこと(前年同期は56千円の支出)等により、408百万円の支出(前年同期は359百万円の支出)となりました。

## グラフで見るキャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)



IRサイトの  
ご案内

当社のさらに詳しい情報についてはHPをご覧ください。

<http://www.win-int.co.jp/>

■ お問い合わせ先 総務部 / 03-5688-0878

ウイン・インターナショナルのホームページはIR・財務情報に加え、皆様に当社の事業内容をより深くご理解いただけるよう最新ニュースや事業案内を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



## 会社概要 (2011年9月30日現在)

社名	株式会社ウイン・インターナショナル
英文社名	WIN INTERNATIONAL CO., LTD.
事業内容	医療機器販売事業
本社	東京都台東区台東四丁目24番8号
主な拠点	東京、千葉、埼玉、神奈川、福島、大阪、香川、福岡
設立年月日	1983年6月1日
資本金	330,625千円
従業員数	262名

## 株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	47,000,000株
発行済株式の総数	12,303,400株
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
秋沢 英海	4,106,300	33.65
ピービーエイチフォーファイテリティーロープライズストックファンド(常任代理人株式会社三菱東京UFJ銀行)	800,071	6.56
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	6.56
メロンバンクエヌエートリーティークライアントオムニバス(常任代理人株式会社三菱東京UFJ銀行)	430,229	3.53
株式会社三菱東京UFJ銀行	400,000	3.28
古川 國久	381,500	3.13
日本生命保険相互会社	250,000	2.05
三田上 浩美	203,400	1.67
鴛田 金光	200,000	1.64
伊藤 成幸	200,000	1.64

(注) 持株比率は自己株式(100,348株)を控除して計算しております。

株主数	2,588名
上場金融商品取引所	大阪証券取引所(JASDAQ市場)(証券コード:2744)
IRのお問い合わせ先	総務部 / TEL 03-5688-0878
URL	<a href="http://www.win-int.co.jp/">http://www.win-int.co.jp/</a>

## 取締役、監査役、会計監査人 (2011年9月30日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	村田 裕可
取締役	杉原 庸介
常勤監査役	卜部 容志孝
監査役	神田 安積
監査役	菊地 康夫
補欠監査役	大友 良浩
会計監査人	有限責任あずさ監査法人

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	期末配当金 3月31日
公告方法	電子公告 URL <a href="http://www.win-int.co.jp/koukoku/index.html">http://www.win-int.co.jp/koukoku/index.html</a> ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株式に関するお申出先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711(通話料無料) (同取次窓口) 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

※株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主通信 Vol.17の アンケート結果

アンケート調査に多くの回答と  
温かいメッセージをいただき、  
ありがとうございました。  
アンケートの結果を下記に  
掲載させていただきますので  
ご参照ください。

### あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。

(複数回答/%)



### あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

(%)



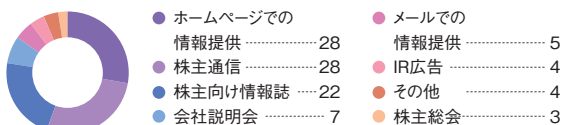
### あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。

(複数回答/%)



### あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。

(複数回答/%)



※小数第一位を四捨五入しておりますので、割合を合計したときに100%にならない場合がございます。

今後も株主の皆様からのご意見には真摯に耳を傾け、  
当社ビジネスを一層発展させるための糧とさせていただきます。

## 株主の皆様へのアンケートのお願い

当社では、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、  
アンケートを実施させていただいております。

なお、従来のハガキによるご回答に加えてインターネットからも  
ご回答いただけます。

お手数ではございますが、ご協力の程、よろしくお願いたします。

インターネットをご利用いただけない株主様は、  
こちらのハガキをご利用ください。

該当する項目の番号に○を付けてください。  
特に指定のないもの以外は「1つだけ」お選びください。

問1 あなたが投資先を検討する際、よく利用する情報源をお知らせください。(3つまで)

①新聞 ②会社四季報・日経会社情報 ③経済誌・投資情報誌 ④アナリストレポート  
⑤証券会社の営業員 ⑥一般株式情報サイトやメールマガジン ⑦企業のホームページ  
⑧会社説明会 ⑨その他( )

問2 あなたは当社の株式を購入する際、社名をどこでお知りになりましたか。

①TV・新聞・雑誌など ②インターネット ③会社四季報・日経会社情報 ④アナリストレポート  
⑤証券会社の紹介 ⑥知人の紹介 ⑦以前から知っていた ⑧その他( )

問3 あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(いくつでも)

①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針  
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り  
⑫証券会社の勧め ⑬その他( )

問4 あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

①買い増し ②長期保有 ③売却 ④未定

問5 あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。  
(3つまで)

①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針  
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り  
⑫株主優待 ⑬その他( )

問6 あなたは当社のIR活動に満足していますか。

①満足している ②普通 ③不満である

問7 あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。(いくつでも)

①ホームページでの情報提供 ②メールでの情報提供 ③会社説明会 ④株主総会  
⑤株主通信 ⑥株主向け情報誌 ⑦IR広告 ⑧その他( )

問8 当社の株主通信について、情報量はいかがですか。

①多すぎる ②ちょうど良い ③少なすぎる

問9 当社の株主通信について、わかりやすさはいかがですか。

①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい

問10 当社の株主通信について、読みやすさはいかがですか。

①読みやすい ②普通 ③読みにくい

その他ご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

# アンケートはインターネットから ご回答いただけます。

インターネットをご利用いただけない株主様は、  
こちらのハガキをご利用ください。



差出有効期間  
平成24年3月  
31日まで  
切手はいりません

郵便はがき

1 1 0 8 7 9 0

220

東京都台東区台東四丁目24番8号

株式会社ウイン・インターナショナル  
総務部 行



性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 29歳以下 <input type="checkbox"/> 30~39歳 <input type="checkbox"/> 40~49歳 <input type="checkbox"/> 50~59歳 <input type="checkbox"/> 60~69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上
お住まいの都道府県	
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 公務員・非営利団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト・フリーター <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職・定年退職 <input type="checkbox"/> その他
株式投資歴	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1~2年未満 <input type="checkbox"/> 2~5年未満 <input type="checkbox"/> 5~10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上

キ  
リ  
ト  
リ  
線

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 2744

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト  
内にある検索窓に、いいかぶと  
4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い  
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本誌が  
お手元に到着してから約2ヶ月  
間です。

インターネットでご回答いただいた方の  
中から抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主  
リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細  
<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させて  
いただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社 ウイン・インターナショナル

〒110-8558 東京都台東区台東四丁目24番8号

TEL.03-5688-0878

<http://www.win-int.co.jp/>



本誌は、環境に優しい植物油  
インキを使用して印刷しています。



この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT-With the Earthを  
通じてオフセット(相殺)しています。